

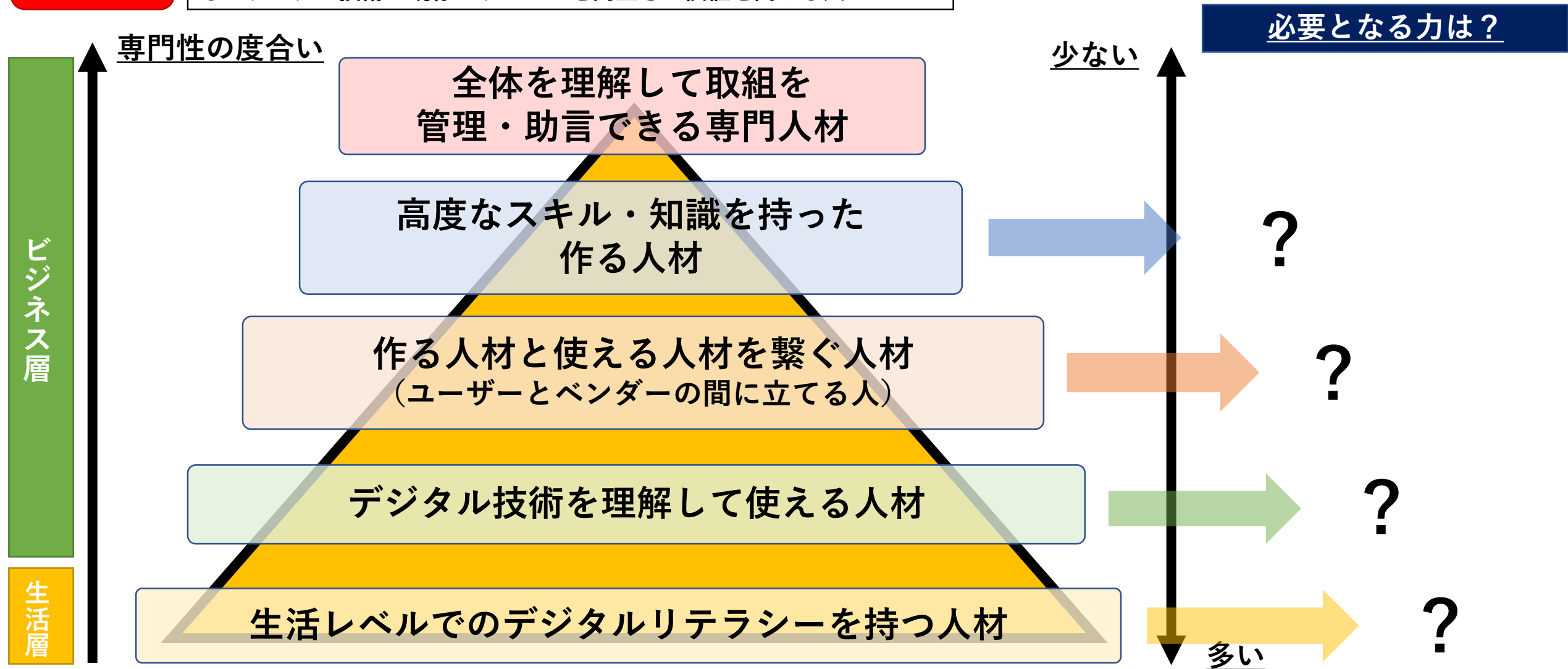
第1回WGでの意見等の 取りまとめ結果について



1 北海道で必要となるデジタル人材とは？

定義

- デジタル技術で新しいビジネスや世の中を作っていく人
- デジタル技術で既存のサービスを向上させ価値を高める人







2 デジタル人材に必要な力は？

- ✓ デジタルがあらゆる分野の共通インフラとして機能する時代が到来しようとする中で、一部の技術者やIT企業だけでなく、多くの人を巻き込んで次代の北海道を作っていく必要がある。
- ✓ 一部の人のためのデータ、技術というのではなく、多くの人々がデジタル社会に必要な知識や技術について、基本的な理解をしている必要がある。

高等学校で必修化される「情報Ⅰ」の学習指導要領を参考に考えてみると…

(必要とされる力の例)

-  デジタルを前提に物事を見て・考える力 →
-  デジタル技術を活用して問題を発見・解決する力 →
-  デジタル技術を活用して情報を多角的に捉えて新たな意味を見出す力 →
-  デジタルに関するモラル
(法規や制度、マナー、セキュリティなどの理解) →

必要とする スキル・知識の例

- ハードウェアの知識
- ネットワークの知識
- データベースの知識
- アプリ動作の知識
- データ収集、整理、分析するスキル
- コミュニケーションスキル
- 仮説・論理思考
- ヒアリング力
- 法規や制度に関する知識
- 情報セキュリティに関する知識
- 業界に関する知識
-
-
-

3 意見交換での発言等の整理

課題

デジタル化が目的となることが問題（効率化や新たな付加価値を生むツール）

デジタル人材を育てる人や場が少ない

デジタル人材がない、探すのが難しい

DXを実践している人に出会うことが少ない

学び口が少ない

IT人材の確保が企業課題

デジタル化への投資価値はどれだけか

ITを熟知している人が内部にいない

デジタル人材の雇用コストの問題
（複数人必要）

デジタル化を行う人、余力が組織にあるかどうか
が問題

外部人材を入れたからといって取組が進むわけではない
（現場の理解とトレンドの理解ができる人がいる
かないかが重要）

など

取組の方向性

デジタル技術で新しいビジネスや世の中を作っていく人

デジタル技術で既存のサービスを向上させ
価値を高める人

ITを理解して現場にアドバイスや
コーディネートできる人材
（自社ビジネスの理解とITの理解必要）

管理職も含めて多くの人のマインドセット
を変える必要

一般的なビジネススキルを前提にITを組み合わせ
ることが重要

地域での学びの場の提供

いる人材をITを使える人材にする

ITを使える人材を増やす必要

地域で集中的に専門的な人材を育てることも
重要

リカレント教育・再教育も重要

教員や管理職といった人を育てる立場の人の
再教育・改革

育てた人を地域に定着させる仕組みづくり

など

事業案

地域で生きた教材を提供するスキーム

実証フィールドの提供
（テーマやエリアの設定）

若い人がチャレンジできるフィールド
の提供（失敗の許容）

人・成果・使ったスキルをセットにした人材バンク事業
（副業的にできてもよい）

インターンシップの活用

経営層向けのDXトップセミナー
（自治体も含む）

補助事業の特別枠の創出
（採択率・補助率upなど）

など

課題のマッピング

地域の課題

デジタル人材がいる地域といない地域での格差が激しい

デジタル人材がいない

人を探すことが難しい

DXを実践している人に出会うことが少ない

学び口が少ない

組織の課題

デジタル化への投資価値はどれだけか

デジタル人材の雇用コストの問題
(複数人必要)

デジタル化を行う人、余力が組織にあるかどうか
が問題

ITを熟知している人が内部にいない

IT人材の確保が企業課題

個人の課題

デジタル化に関するベースの知識・スキルの
底上げが課題

業務多忙で勉強時間の確保が難しい

勉強の必要性を感じない層が一定数いる
(現在のスキルで十分)

地域・組織共通の課題

デジタル化が目的となることが問題
(効率化や新たな付加価値を生むツール)

デジタル人材を育てる人や場が少ない

外部人材を入れたからといって取組が
進むわけではない
(現場の理解とトレンドの理解ができる人がい
るかいないかが重要)

◆ 必要となる施策

学び・情報共有の場づくり

人材を共有するスキーム

組織の風土改革・個人の意識改革

取組の方向性に関するマッピング

地域に関すること

地域での学びの場の提供

地域で集中的に専門的な人材を育てることも重要

組織に関すること

いる人材をITを使える人材にする

個人に関すること

デジタル技術で既存のサービスを向上させ価値を高める人

デジタル技術で新しいビジネスや世の中を作っていく人

一般的なビジネススキルを前提にITを組み合わせることが重要

ITを理解して現場にアドバイスやコーディネートできる人材
(自社ビジネスの理解とITの理解必要)

地域・組織共通項

育てた人を地域に定着させる仕組みづくり

リカレント教育・再教育も重要

ITを使える人材を増やす必要

組織・個人共通項

管理職も含めて多くの人のマインドセットを変える必要

教員や管理職といった人を育てる立場の人の再教育・改革

◆ 必要となる施策

学び・情報共有の場づくり

地域をフィールドにした学びの場づくり

人材を共有するスキーム

組織の風土改革・個人の意識改革

事業案に関するマッピング

学び・情報共有の場づくり

地域で生きた教材を提供するスキーム

インターンシップの活用

実証フィールドの提供
(テーマやエリアの設定)

若い人がチャレンジできるフィールドの提供
(失敗の許容)

補助事業の特別枠の創出
(採択率・補助率upなど)

地域をフィールドにした学びの場づくり

地域で生きた教材を提供するスキーム

インターンシップの活用

実証フィールドの提供
(テーマやエリアの設定)

若い人がチャレンジできるフィールドの提供
(失敗の許容)

人材を共有するスキーム

人・成果・使ったスキルをセットにした人材バンク事業
(副業的にできてもよい)

組織の風土改革・個人の意識改革

庁内（部長級）+道内企業の経営層向けのDXトップセミナー

4 意見交換

前回の意見交換において頂いたご意見等を踏まえ、事務局で取りまとめた「北海道で育成・確保したいデジタル人材及び施策の方向性」について下記の観点からご発言をお願いします。

- **ここまでの説明に関する質問や意見について**
 - ・ 育成・確保したいデジタル人材の方向性について
 - ・ 施策の方向性について
- **その他、本テーマについて発言したいこと**

※ 具体の施策についてはこの後の意見交換で行います ※